



ヨコハマトリエンナーレ 2014 第4回記者会見 参加作家全容、創造界限拠点連携プログラムを発表

本日、横浜トリエンナーレ組織委員会は、横浜美術館（レクチャーホール）において、8月に開幕を迎える「ヨコハマトリエンナーレ2014」の第4回記者会見を行いましたので、その内容をご案内します。

【主な発表】

1 計 62 組の参加作家が決定

第3回記者会見で発表した7組に加えて、今回新たに55組の参加作家を発表しました。（参加作家：19か国から計62組）最終的には約65組、70人を超える作家の参加を予定しています。また、2つの主会場での展示は、「序章」に始まり「全11話の挿話」からなる本のように構成されます。

2 国内の芸術祭が参加

開催の時期が重なる「札幌国際芸術祭2014」や「福岡アジア美術トリエンナーレ」が、本展に参加します。

3 子どもに向けたプログラムの実施

「本格的な展覧会を子どもに見せる」をテーマに、小中高生を対象とした教育プログラムなどを開催します。

4 創造界限拠点連携プログラムの発表

本展の会期中、現代アート作品の展示のみならず、滞在制作や交流の場の提供、パフォーマンスアーツの上演、障害者との協働による展示など、創造都市横浜を代表するアートNPOの主催による多様で個性のあるプログラムが、まちなかで開催されます。

5 前売券の販売を開始

4月25日（金）～7月31日（木）まで、お得な前売券を、鉄道駅売店、各種プレイガイド等で販売します。



ヴィム・デルボア
《Flatbed Trailer》2007
(C) Wim Delvoye, Belgium Courtesy of MONA, Australia



福岡道雄 《飛ばねばよかった》1966
Photo: FUKUNAGA Kazuo



大竹伸朗
構想イメージ
(C)Shinro Ohtake
Courtesy of Take Ninagawa, Tokyo



詳細は、別添のリリース資料 または
公式サイト <http://www.yokohamatriennale.jp/> をご覧ください。

お問合せ先

文化観光局創造都市推進課 トリエンナーレ担当課長	富士田 美枝子	045-671-3426
横浜トリエンナーレ組織委員会 事務局長	帆足 亜紀	045-663-7232